

令和7年度 学校総括評価表

徳島市北井上中学校

| 自己評価 | | | | 次年度への課題と今後の改善方策 |
|----------------------------------|---|---|--|---|
| 重点課題 | 重点目標 | 評価指標と活動計画 | 評価 | |
| 規範意識や思いやりの心を持ち、自ら考え行動できる生徒を育成する。 | 1 相手の気持ちを考えた言動ができるようにする。 2 自ら考え、行動できるようにする。 3 あいさつの習慣を定着させる。 | 評価指標 1 相手の気持ちを考えた言葉遣いができていると考える生徒が80%以上いる。(アンケート調査) 2 自分の気持ちを素直に表現したり、自分で考え行動することができたと考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査) 3 あいさつをきちんとできたと考えている生徒が、80%以上いる。(アンケート調査) | 評価指標の達成度 1 できていると考える生徒が86%であり、目標を達成できた。 2 できたと考えている生徒が84%であり、目標を達成できた。 3 できたと考えている生徒が94%であり、目標を達成できた。 | ・引き続き、道徳・人権についての研修を進め、すべての生徒が自分らしく安心して生活できる学級・学校づくりを進める。 ・学校全体で取り組むポジティブな行動支援の内容・方法を工夫し、生徒のよさや頑張りを引き出す。 ・学校行事や体験的な活動において、できるかぎり生徒が活動の計画や準備・運営などに関わるようにさせる。ふるさと学習については、より一層の充実を図る。 ・GACV運動を充実させるとともに、ボランティア活動で地域との連携を進める。 |
| | | 活動計画 1 生徒一人一人の人権感覚を高める取り組みを実施する。 2 集団の中で、生徒自身が自ら考え行動する機会を行事や体験的な活動等を通してつくる。 3 GACV運動(あいさつ・清掃活動ボランティア)を実施する。 | 活動計画の実施状況 1 道徳・人権については、各学年テーマを設け、外部講師を招聘しつつ取組の充実を図った。学校全体で生徒一人一人のよさを認め合えるように取り組んだ。 2 学校の外での学びとして、職場体験、保育実習を実施できた。また、「ふるさと学習」として外部講師を招聘し、現地でふるさととの良さを学ぶことができた。 3 GACV運動は生徒会役員を中心に定着し、過ごしやすい学校環境づくりに大きく貢献している。 | |
| 生徒一人一人に応じた確かな学力を育成する。 | 1 基礎的な知識や技能を習得するとともに、それを活用して課題を解決するために必要な思考力等を育成する。 2 自ら学ぶ力を身につけさせる。 | 評価指標 1 朝の読書にまじめに取り組んでいると考える生徒が70%以上いる。(アンケート調査) 2 授業中に自分の考えを積極的に発表できたと考えている生徒が45%以上いる。(アンケート調査) 3 1日平均1、2年生は2時間、3年生は3時間の家庭学習ができていると考える生徒が過半数いる。(アンケート調査) | 評価指標の達成度 1 取り組めたと考える生徒が78%であり、目標を達成できた。 2 発表できたと考える生徒が44%であり、目標にわずかに届かなかった。 3 達成できた生徒は1年生13%、2年生67%、3年生36%であった。2年生は達成できたが、1・3年生は目標を達成できなかった。 | ・書くことも含めて、発信する力を育成するためにあわっ子タイムズを活用する。 ・小中の連携を深めながら、主体的に学ぶ生徒の育成、ICTの効果的な活用についての研究を進める。 ・すべての教科で言語活動を充実させるための取組を考え、実践する。 ・各教科で課題解決学習の内容を取り入れる。その際、タブレットを積極的に活用する。 |
| | | 活動計画 1 朝の読書や図書カード記入により読書習慣の定着を図り、表現力等の基礎を養う。 2 授業中に自ら考え発表する機会をつくることにより、思考力・判断力・表現力を養う。 3 自主学習の仕方についてアドバイスをし、効果的な家庭学習の習慣を身につけさせる。 | 活動計画の実施状況 1 あわっこタイムズを読み、感想をまとめる時間を設けるとともに、図書委員を中心に本の紹介等、図書室利用を増やすための取組を行った。 2 ICTを活用し、生徒が意見を交流できる場面を取り入れた授業を展開する等、思考力・表現力の育成に取り組んだ。 3 「学習の手引き」を配布し、各教科で学習の進め方などを指導した。また、毎週水曜日をノー部活デーとしている。 | |

| 自己評価 | | | | 次年度への課題と今後の改善方策 | |
|----------------------------------|---|---|---|---|--|
| 重点課題 | 重点目標 | 評価指標と活動計画 | 評価 | | |
| 健康や安全に留意し、基本的な生活習慣を身につけた生徒を育成する。 | 1 健康や安全の大切さを理解させる。 2 時間を守る大切さを理解させる。 | 評価指標 1 健康や安全に関しての行事は役に立っていると考えている生徒をできるだけ100%に近づける。(アンケート調査) 2 学校や家庭で時間を守ることができたと考える生徒が75%以上いる。(アンケート調査) | 評価指標の達成度 1 健康に関してと安全に関して、役立っていると考える生徒はそれぞれ88%と92%であった。 2 守ることができたと考える生徒は92%であり、目標を達成できた。 | 総合評定(評定) A (所見) 学校や学校で時間を守ることができた生徒が昨年度より7ポイント向上していて、生徒同士で声かけができるようになってきている。また、防災については、合同避難訓練に加えて、オープンスクールで、地域の人たちと一緒に命を守るについて考えるができた。今後、生徒たちを地域防災の担い手として育てていくための指導を続けていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 「自分の命は自分で守る」ための判断・行動が取れるようにするための学習や訓練を進める。今後は、健康や安全に関する行事をさらに充実させる。 通学路の安全点検や交通安全指導を徹底し、地域と連携して「ゾーン30プラス」を定着させる。 自分の生活を振り返り、目標を達成するための効果的な時間の使い方について考え、実践する機会を設ける。 |
| | | 活動計画 1 健康や安全に関する活動や行事を実施する。 2 学校生活の中で時間を守ることの意義について、機会を捉えて指導する。 | 活動計画の実施状況 1 食育パワーアップ作戦、通学路安全点検、防災訓練、交通安全教室、救急救命法講習会等の活動を実施することができた。 2 予鈴での移動等、教職員共通理解のもと指導を行った。 | | |
| 開かれた学校づくりをめざす。 | 1 保護者や地域に対して、積極的に情報発信をする。 | 評価指標 1 学校は家庭連絡をきちんとしていていると考える保護者が80%以上いる。(アンケート調査) 2 学年だよりやホームページ等を通じて学校の様子がよくわかると思っている保護者が80%以上いる。(アンケート調査) | 評価指標の達成度 1 家庭連絡ができていると考える保護者が85%であり、目標を達成できた。 2 学校の様子がよくわかると思っている保護者が88%であり、目標を達成できた。 | 総合評定(評定) A (所見) 生徒の様子を教職員で共有するとともに、家庭との連絡を密にすることで、保護者の理解・協力を得ることができた。今後は、家庭連絡アプリ「すぐーる」を併用して情報発信に努め、学校の様子をさらに広報していきたいと考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会での協議を生かし、地域と連携しながら学校教育の充実を図る。 保護者や地域の方々に、教育活動を見てもらう機会を増やしていきたい。 地域の人材の活用や関係機関と積極的に連携し、豊かな体験活動等の機会を設ける等、教育の質の向上に努める。 すぐーるやホームページによる情報発信の回数や内容の充実を図り、最新の情報を提供できるよう努める。 |
| | | 活動計画 1 日頃の連絡や三者面談、オープンスクール等を通じて、できるだけ子どもたちの学校での様子がわかるよう取り組む。 2 学年だよりやホームページ等を通じて、教育活動の様子について積極的に知らせる。 | 活動計画の実施状況 1 日頃の連絡はもちろんのこと三者面談・オープンスクールを実施した。ケーブルテレビにも協力いただき、可能な行事は放映してもらった。 2 教育活動の様子について、適宜ホームページで情報発信した。また、学年だより・保健だより・給食だより等を月一回発行した。 | | |

「評定」の基準 A:十分達成できた。 B:おおむね達成できた C:達成できなかった

<学校関係者評価>

・重点課題4項目において、ほぼ目標達成ができており目標に沿って着実に実践している成果だと思います。特によかった点は「規範意識や思いやりの心を持ち、自ら考え行動できる生徒を育成する」という課題に関する生徒アンケートにおいて、肯定的回答が8割を超えている点です。日頃からのGACV運動や校長先生を筆頭に朝の挨拶、声かけがこの結果に結びついていると思います。あいさつは成長の過程において、もっとも基本で、大切な人間関係の土台となる部分なので、引き続きお願いしたいです。

・全体の評価が昨年度より良くなっています。重点課題の「相手の気持ちを考えた行動ができるようにする」「自ら考え行動できるようにする」「あいさつの習慣を定着させる」がAの評定になったことは本当に素晴らしいです。色々と変化の激しい時代ですが、これからもお願いします。

・朝の読書への取組は、目標を超えているとはいえ、次年度はもう少し上げてほしいです。授業中での積極的な発表については、生徒たちが萎縮せずに、疑問があればそのまま発言できるような授業をお願いします。また、スマホやネットに関する講演や指導を引き続きお願いします。

・特別支援学級の生徒一人一人に対して、成功体験を積めるように指導していただき、先生方に頭が下がる思いです。

・学習面での評価については、学習時間が少なく達成度はあまり良くない数字になっていますが、生徒一人一人が課題をきちんと提出していたり、授業内容がしっかりとわかっていれば、評価の方はあまり気にしなくてもいいと思います。

・様々な学習ツールの活用がされているので、家庭学習の時間は長さよりあくまで質ではないかと思えます。心身不安定な年頃なので、学校に楽しく通えていることが親としては安心しています。コミュニケーション能力や問題解決をする力を中学校のうちに少しでも養うことができたらと思っています。

・国府CATVで職場体験学習をできたのは、よかったです。中学校を卒業して、二十歳を祝う会で集まったときに、ふるさと学習はすごく意味のあることだと思います。

・アンケートで「あまり思わない」「思わない」と答えている人たちの取りこぼしがないようにしていく努力が必要だと思います。